高槻病院

内科

指導担当医（役職）

船田　泰弘（臨床研修センター長）

実習概要

概要

4週間で患者数名を担当し、原則として初期研修医と行動を共にします。担当患者の診察だけでなく研修医について他の患者の診察や病状説明も可能な限り立ち会い、研修医の1日の仕事がどのようなものかを体験します。また、臨床現場では疾病だけでなく社会的背景を踏まえたゴール設定が重要であることをチーム医療の現場から学びます。実習終了時に基本的な医療面接と身体診察のスキルを身につけることと、1年後医師となった自分をイメージして、モチベーションとプロフェッショナリズムが醸成されることを目標にします。

医療面接

毎日担当患者の医療面接を行い、初期研修医と指導医から随時フィードバックを受けます。

身体診察

毎日担当患者の身体診察を行い、初期研修医と指導医から随時フィードバックを受けます。

初期研修医の担当患者の診察にも立ち会い、身体診察のスキルアップを目指します。

カルテ記載

毎日担当患者のカルテを記載し、指導医からフィードバックを受けます。

症例プレゼンテーション

日々のチームカンファレンスで担当患者のショートプレゼンテーションを行い、検査や治療の方針についてディスカッションします。また、全体のカンファレンスでフルプレゼンテーションを行います。

その他（特色など）

循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、総合内科、糖尿病内分泌内科からひとつ主診療科を決め、主診療科以外の診療科については希望に応じてスケジュールに組み入れます。

学生へのメッセージ

4週間の実習で担当患者を入院から退院まで主治医的な立場で受け持つことにより、基本的な診療スキルだけでなく、主治医団や多くのメディカルスタッフと協働する中で、将来主治医として活躍する際に求められる能力や視点についても学んでほしいと思います。是非日々明確な目的意識を持って積極的に実習に取り組んで下さい。市中病院の第一線で活躍する研修医や指導医が熱意のある皆さんを待っています。